

令和2年度決算特別委員会を 設置

(市長提案の説明要旨)

令和2年度の決算議案が9月定例会最終日に提出され、議会では審査のための特別委員会を設置しました。特別委員会は10月12日から4日間開催され、いずれの議案も認定すべきものと決しました。今後、12月定例会初日に委員長報告を行い、その後採決する予定です。

【一般会計】

歳入総額9百33億6百73万5千円、歳出総額8百98億5千2百62万9千円、実質収支31億5千4百7万7千円となりました。

歳入では、個人市民税や固定資産税は増となりましたが法人市民税が大きく減となり、決算においては、4年ぶりに前年度を下回る結果となりました。

歳出では、鈴木遺跡の国指定史跡化の記念展示、特別緑地保全地区用地の取得、健康センターへの子育て世代包括支援センターの開設、GIGAスクール構想実現に向けた1人1台端末の整備、鷹の台駅前広場用地整備、公共施設マネジメントの取組の推進など第三次長期総合計画に沿った事業を実施しました。

そのほか、特別定額給付金給付事業や、ワクチン接種に向けた準備など新型コロナウイルス感染症対策の取組を行いました。市税収入が4年ぶりに前年度を下回り、地方債現在高が16年ぶりに前年度を上回るなど、非常に厳しい財政運営が続いてい

ます。このような状況の中で真に必要とされる事業を進めるために、今後も財政調整基金残高の確保に努めるとともに、選択と集中の取組を推進し、持続可能な財政運営に努めていきます。

【国民健康保険事業特別会計】

歳入総額百67億2千87万円、歳出総額百65億7百5万9千円、実質収支は2億1千4百81万1千円となりました。

後期高齢者医療制度への移行に伴い、被保険者数の減少は続くものの被用者保険からの加入者が増えていることから、減少幅は鈍化しています。

歳入では、税率改定の実施等で国民健康保険税が前年度に比べ8千5百88万4千円、2・4%の増となり一般会計繰入金は19億1千万円を繰り入れました。

歳出では、保険給付費が前年度に比べ4億3千8百96万3千円、4・0%の減となりました。

【後期高齢者医療特別会計】

歳入総額44億5千55万6千円、歳出総額44億2千6百55万9千円、実質収支は2千4百99万7千円となりました。

歳入では、被保険者数の増などにより保険料が前年度に比べ5千95万7千円、2・4%の増となり、歳出では、療養給付費負担金の増などにより広域連合納付金が前年度に比べ1億3百19万7千円、2・5%の増となりました。

なお、後期高齢者医療制度の対象者は2万3千6百91人となり、前年度より37人、1・5%の増となりました。

【介護保険事業特別会計】

歳入総額百43億4千4百79万5千円、歳出総額百39億8百92

万6千円、実質収支は4億3千5百87万円となりました。

歳入では、法定負担割合に応じた国庫支出金等の増により前年度に比べ4・8%の増となり、歳出では、要介護等認定者数の増等に伴う保険給付費の増により前年度に比べ3・3%の増となりました。

第1号被保険者数は4万5千6百79人、要介護、要支援の認定者数は9千4百67人となり、ともに前年度より増加しました。

【下水道事業会計】
収益的収入は43億6千6百77万1千円、収益的支出は38億6千2百45万8千円となりました。資本的収入は7億6千7百2万4千円、資本的支出は14億4千6百37万5千円となりました。下水道プランに基づき、浸水対策及び下水道施設の老朽化対策等に取り組んできたほか、地震対策では、令和元年度に引き続き重要な管路の耐震診断調査を実施しました。

○委員長 ○副委員長
●一般会計決算特別委員会

- 津本 裕子 ○川里 富美
- 石津はるか 伊藤 央
- 岡田しんへい きせ恵美子
- 鈴木だいち 鈴木 洋一
- 比留間洋一 安竹 洋平
- 山浦まゆみ 山岸真知子
- 幸田 昌之

- ◎福室 英俊 ○さとう悦子
- 虻川 浩 佐藤 徹
- 外山まなみ 橋本 孝二
- 橋本 久雄 細谷 正
- 水口かずえ 山崎とも子
- 山田 大輔 吉本ゆうすけ

政務活動費収支報告

令和2年度の政務活動費について、収支を報告します。

政務活動費とは

政務活動費とは、地方自治法第100条第14項から第16項まで及び小平市議会政務活動費の交付に関する条例の規定により、議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として、議会における会派に対して交付されるものです。

会派の所属議員数に応じ、1人当たり月額3万円をかけた金額がその年度に交付されます。交付を受けた会派には、年度終了後に政務活動費収支報告書を提出することが義務づけられています。

令和2年度 会派別収支状況

単位：円

経費項目	説明	会 派 名 ・ 人 数 (令和3年3月31日現在)							合計
		市議会 公明党 6人	政和会 5人※1	一人会派の会 4人	フォーラム 小平 3人※2	日本共産党 小平市議団 3人	生活者 ネットワーク 3人	まちづくり 市民こだいら 1人	
交付決定額 (A)		2,160,000	2,310,000	1,440,000	1,440,000	1,080,000	1,080,000	360,000	9,870,000
支 出	調査研究費	6,716	6,192	0	83,424	0	96,800	0	193,132
	研修費	0	0	45,138	62,336	2,212	186,190	4,000	299,876
	広報費	227,568	1,607,455	0	1,222,589	870,870	690,000	249,136	4,867,618
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請及び 陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	101,621	43,376	10,053	62,707	4,437	0	194,880	417,074
	資料購入費	68,690	60,060	156,885	91,020	107,770	106,542	10,840	601,807
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計 (B)		404,595	1,717,083	212,076	1,522,076	985,289	1,079,532	458,856	6,379,507
返還額 (A-B)		1,755,405	592,917	1,227,924	0	94,711	468	0	3,671,425

※1 令和2年9月に議員が1人逝去し、令和3年2月に議員が1人辞職しました(当初人数は7人)。これにより、当初交付額2,520,000円から210,000円が減額となりました。
※2 令和3年3月に議員が1人辞職しました(当初人数は4人)。当初交付額1,440,000円は変更ありません。

各会派の収支報告書や領収書等は、議会図書室でご覧いただけるほか、ホームページでも公開しています。詳しくは小平市議会のホームページ (<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>) をご覧ください。